



# 校長通信

令和8年度 4月号  
大阪市立成南中学校  
校長 松本 桂  
令和8年 4月8日

## ☆令和8年度スタート



令和8年度がスタートしました。1年生の皆さん、ようこそ成南中学校へ！新たに中学校生活が始まりますね。期待と不安どちらもあると思いますがまずは新しい生活リズムに慣れることからです。焦らず慌てず、自分のペースを大事にしながら行きましょう。さあ、81期生の第1歩です！

2年生の皆さん、後輩ができました。昨年1年間で学んだこと、経験したことを生かしてさらに成長してほしいと思います。1年生を導き、学校行事や部活動などでも2年生の皆さんが中心となっていきます。80期生の躍動する姿がたくさん見られることを期待しています。

3年生の皆さん、いよいよ中学校生活最後の1年です。あなたたち79期生が、この成南中学校のリーダーです！自覚と責任を持って日々の学校生活を過ごすとともに、自分の将来を真剣に考え行動してください。特に学習面はこれまでの自分を振り返り、そのままがいいのか…いや、本気の自分に变身するのか、やるもやらないも全て自分の身に返ってきます。強い決意を持って3年生をスタートしてください。

私からは、始業式で皆さんに伝えた「3か条」をここでも伝えたいと思います。ともに頑張りましょう！

- 一、『自分を高める』…明確な目標を持って自分の「心」「知」「体」を高めること
- 一、『仲間と繋がる』…優しくも厳しくも仲間を思い、繋がりを互いに支えあうこと
- 一、『身近な人への感謝』…幸せで充実した日々は周囲の支えがあってこそだということ

## ～ 成南中学校の校訓 ～

【校訓には6つの言葉があります。一つ一つの意味を知ろう】

**純真**：心にけがれがなく清らかなこと

**明朗**：明るくてほがらかなこと

**誠実**：私利私欲をまじえず真心をもって人や物事に対すること

**勤勉**：仕事や勉強などに一生懸命に励むこと

**自主**：自ら進んで決定し実行すること

**協同**：複数の人または団体が力を合わせて物事を行うこと



### 「日本語指導教室」について

成南中学校には、日本語指導教室があります。令和3年に成南中学校内に開校し、6年目になります。正確には『日本語指導が必要な子どもの教育センター校』といいます。近隣の中学校からもたくさんの生徒が通っており、日本語の学習に励んでいます。本校に在籍している外国籍の生徒もここで勉強しています。



※裏面に、入学式の式辞で新入生に伝えたことを書いています。2・3年生も読んでください。

## 「中学校生活で大切にしてほしいこと」

一つ目は、「自ら考え、行動する力」です。これからの社会は、正解が一つとは限りません。自分で考え、選び、行動することが求められます。失敗を恐れず、一步を踏み出す勇気を持ってください。

二つ目は、「人とのつながりを大切にすること」です。皆さんはこれまで、人と関わることの大切さを実感してきたはずです。仲間と支え合い、互いを認め合いながら、温かい人間関係を築いてください。

三つ目は、「継続する力」です。勉強も部活動も、すぐに成果が出るものばかりではありません。日々の積み重ねこそが、自分を大きく成長させます。小さな努力を大切に、あきらめずに取り組んでください。

## 「なぜ勉強するのか」「なぜ勉強が必要なのか」

ここに水の入ったコップがある。「数学」を学べば、この中に 200ml の水があると数字で見えるようになり、「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることが知れる。「社会」を学べば、この水がどこから来たのかがわかり、そして世界にはこの水さえ飲むことができない人たちがいることを知れる。「美術」を学べば、この水の反射を綺麗に描くことができるようになり、「音楽」を学べば、同じコップでも水の量で音が変わることに気づける。「技術」を学べば、このコップがどんな素材で、なぜ漏れないのかがわかり、「家庭科」を学べば、この水が料理や日常生活に欠かせないものだと知り、「保健体育」を学べば、この水がどのようにして健康を支えているかが知れる。「道徳」を学べば、この水をだれかと分け合う思いやりの大切さを学べて、「国語」を学べば、ここに書いた「全部の意味」を正しく理解できるようになり、「英語」を学べば、この話を世界中の人と分かち合えるようになる。でももし何も学ばなかったら、このコップの中にあるのは「ただの水」で終わる。だから勉強するんだ。この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないためにね。

### 【「校長通信」の発行について】

本通信は環境保護や働き方改革の観点から、紙面配付は行わずホームページの掲載に留めさせていた  
だいております。(今月号は配付します)

なお、紙面印刷したものを事務室前に用意させていただきますので、必要な方はお子様を通じてお手  
にさせていただければ幸いです。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。